パワーセービング機能について

本機は工場出荷時に「パワーセービング機能」をONに設定してあります。

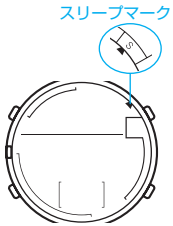
※パワーセービング機能とは、暗いところに放置すると自動的に液晶表示を消してスリープ状態にし、節電する機能です。

※時計が袖などで隠れている場合でも、表示が消えることがあります。

●スリープ状態になるには

・表示スリープ
暗いところで本機を３～４日間放置します。
➡液晶表示が消え、スリープマークが点灯します。
アラーム・時報の報音、自動受信は行ないます。

・機能スリープ
表示スリープのまま暗いところで４日間経過します。
➡アラーム・時報の報音、自動受信は行ないません。
※時計機能は正常に作動しています。



●スリープ状態を解除するには

本機を明るいところに置くか、いずれかのボタンを押します。

※スリープ状態が解除されるまで、最大５秒かかる場合があります。

●パワーセービング機能のON／OFF

パワーセービング機能を働かせなくするには「■セットのしかた」からの操作をご覧になり、パワーセービング機能をOFFにしてください。

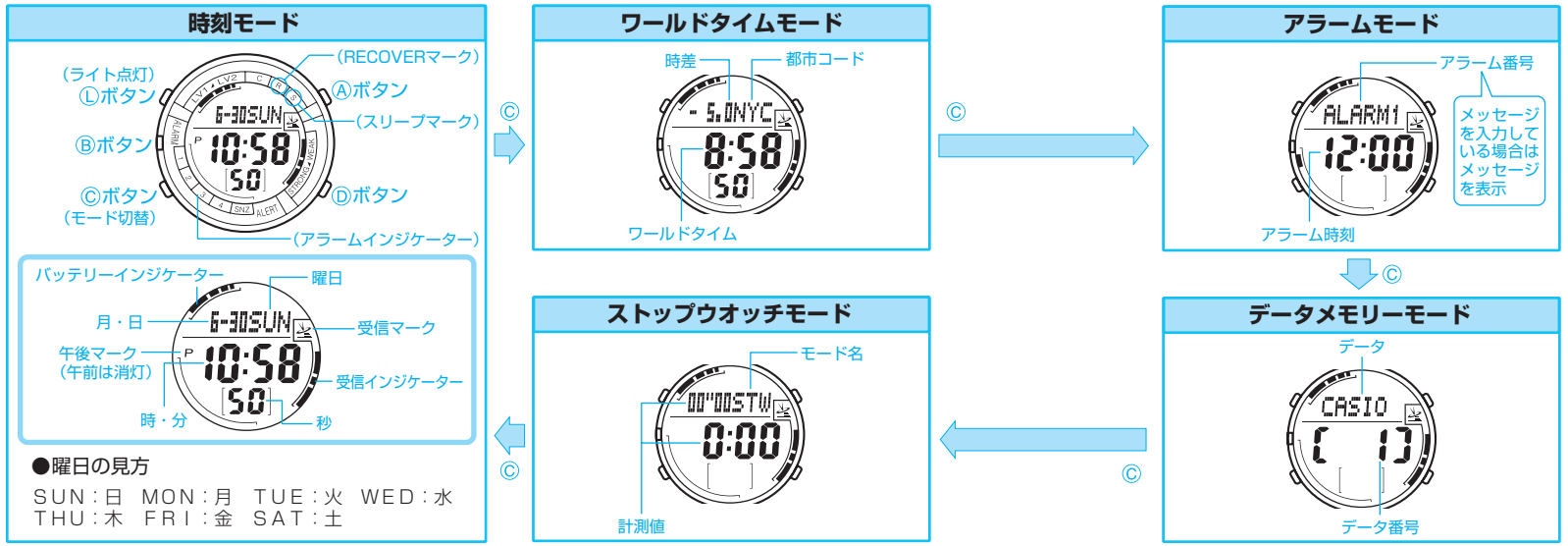
机の中などに長期間しまっておくときは、パワーセービング機能をONにしておけば、節電効果があります。

操作のしくみと表示の見方

※機種により表示は異なります。

Ⓒボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

※アラームモード、データメモリーモードのまま２～３分すると、自動的に時刻モードに戻ります。



●曜日の見方

SUN：日　MON：月　TUE：火　WED：水
THU：木　FRI：金　SAT：土

ライト点灯について

どのモードのときでも、Ⓛボタンを押すと約1.5秒間文字板が発光します。

➡暗いところでも表示を見ることができます。



■ご注意■

●直射日光下では、発光が見えにくくなります。

●発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中断します。

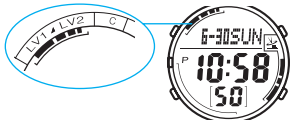
●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

電源について

本機はソーラーセルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。
光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。安定してご使用いただくために、なるべく光に当たるようにしてお使いください。

ご注意
二次電池が消耗して時計機能が停止すると(レベル4)、メモリーされているデータや設定データは消去されます。

■バッテリーインジケーターの見方



レベル1		通常動作可能
レベル2		通常動作可能
レベル3		電波受信不可、アラーム・時報などの報音不可、EL点灯不可、液晶表示不可、ボタン操作不可
レベル4		時計発振不可（時計機能停止）

※直射日光下などの強い光で充電した場合、バッテリーインジケーターが一時的に実際の電池容量より高いレベルを表示することがあります。レベルは充電後しばらくしてから確認してください。

※レベル4になっても、充電を開始すると再び使えるようになりますが、レベル2になってから時刻・カレンダーを合わせてください。

●充電必要サイン

レベル3 状態でインジケーターが点滅しているとき(CHARGE状態)は、電池残量が極端に少なくなっています。このときは、本機を光に当てて、十分に充電を行なってください。

●RECOVER マークが点灯している場合

ライトやアラームなどを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、RECOVER マークが点灯して、一時的に以下の操作ができなくなります。

- ●EL バックライトの点灯
- ●アラーム・時報などの報音
- ●電波受信

この場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。



ワールドタイムの使い方

Ⓒ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界30都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に 24 時間制表示となります。

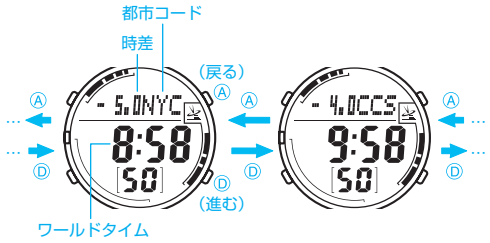
■ご注意■
ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。
* セットについては「■セットのしかた」参照。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓ または Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓐ ボタンを押すと戻ります。各都市の時刻が表示されます。
※Ⓓ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。



■充電時のご注意

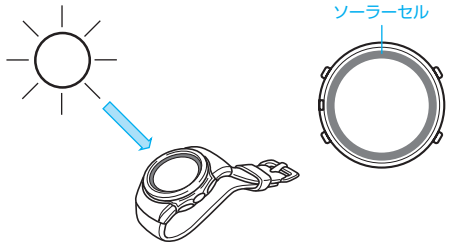
以下のような高温下での充電はお避けください。
●炎天下に駐車中の車のダッシュボード
●白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
●直射日光が長く当たって、高温になる所
なお、極端な高温下では液晶パネルが黒くなることがありますが、温度が下がれば正常に戻ります。

⚠ 充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようにご注意ください。

●充電のしかた

本機のソーラーセル部を光源に向けます。
※ソーラーセルの一部が隠れていると充電効率が下がりますのでご注意ください。

例）時計の置き方



※イラストは樹脂バンドの場合です。

●充電の目安

本機は一度フル充電すると、充電しなくても下記の条件で使用した場合に約6ヶ月動き続けます。
※フル充電からレベル3になるまで。

1日あたりの使用量
・EL バックライト：1.5 秒間
・アラーム報音：10 秒間
・電波受信：3回

なお、こまめに充電を行なえば、安定してご使用いただけます。

〈1日あたりの回復充電時間〉

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約5分
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約24分
曇り日の窓際など（5,000ルクス）	約48分
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	約8時間

●各レベルに回復するための充電時間

環境（照度）	充電時間 レベル4 ➡ レベル3	レベル3 ➡ レベル2	レベル2 ➡ レベル1
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約52分	約15時間	約2時間
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約2時間	約67時間	約13時間
曇り日の窓際など（5,000ルクス）	約4時間	― ― ―	― ― ―
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	約37時間	― ― ―	― ― ―

※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

■サマータイム（DST）について

サマータイムとは DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ または Ⓐ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑボタンを押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。
※サマータイムが ON のときは、DST マークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。
※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、"GMT" 表示のときはサマータイムの設定はできません。



■都市コード一覧

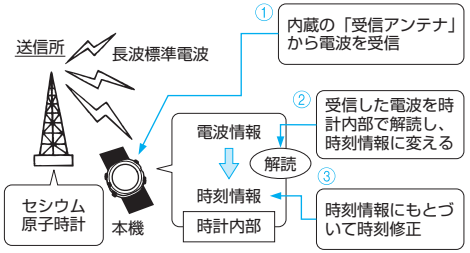
コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
― ― ―	-11		JRS	+2	エルサレム
HNL	-10	ホノルル	JED	+3	ジェッダ
ANC	-9	アンカレジ	THR	+3.5	テヘラン
LAX	-8	ロサンゼルス	DXB	+4	ドバイ
DEN	-7	デンバー	KBL	+4.5	カブール
CHI	-6	シカゴ	KHI	+5	カラチ
NYC	-5	ニューヨーク	DEL	+5.5	デリー
CCS	-4	カラカス	DAC	+6	ダッカ
RIO	-3	リオデジャネイロ	RGN	+6.5	ヤンゴン
― ― ―	-2		BKK	+7	バンコク
― ― ―	-1		HKG	+8	香港
GMT	+0	<グリニッジ標準時>	TYO	+9	東京
LON	+0	ロンドン	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	ADL	+9.5	アデレード
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
ATH	+2	アテネ	NOU	+11	ヌーメア
CAI	+2	カイロ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は 2002 年 6 月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

電波時計について

■ 電波時計とは

正確な時刻情報をのせた長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



電波時計は正確な標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

■ 標準電波

●日本の標準電波（JJY）は独立行政法人通信総合研究所（CRL）が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」および佐賀県と福岡県の境にある「はがね山標準電波送信所（60kHz）」から送信されています。

●アメリカの標準電波（WWVB）はNational Institute of Standards and Technology（NIST）が運用しており、コロラド州のFort Collinsから送信されています。

この標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることもあります。

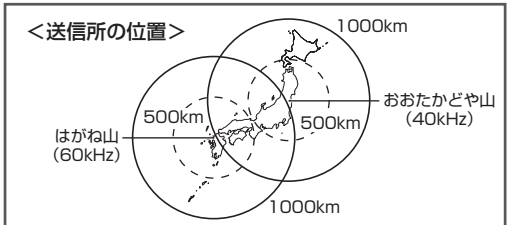
■ 電波の受信範囲の目安

本機は、ホームタイム都市を下記のように設定すると日本の標準電波（JJY）またはアメリカの標準電波（WWVB）を受信することができます。（ホームタイム都市の設定により受信する電波は異なります）

＊ ホームタイム都市の設定については「■セットのしかた」参照。

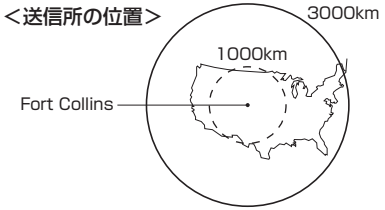
ホームタイム都市	受信電波
TYO	「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」または「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波を受信します。
LAX、DEN、CHI、NYC	コロラド州のFort Collinsからの電波を受信します。

＜送信所の位置＞



●条件の良いときは、送信所からおよそ1,000km離れた場所でも受信することができます。
※ただし、約500kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなることがあります。

＜送信所の位置＞



●条件の良いときは、送信所からおよそ3,000km離れた場所でも受信することができます。
※ただし、約1,000kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなることがあります。

※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼･夜）などによって受信できないことがあります。
※電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。

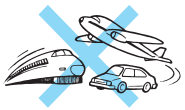
■ 使用場所について

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行なってください。

※電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。


ビルの中およびその周辺
（ビルの谷間など）


高圧線、架線の近く


乗り物の中
（自動車、電車、飛行機など）


家庭電化製品、ＯＡ機器のそば
（テレビ、スピーカー、ＦＡＸ、パソコン、携帯電話など）


電波障害の起きるところ
（工事現場、空港のそばなど）


山の裏側…など

受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

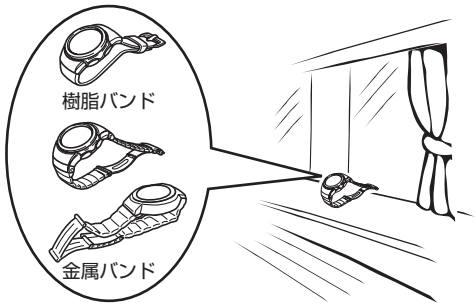
■ 受信方法について

受信方法には、以下の２種類があります。
1 自動受信（午前２・４・６時に自動受信します）
2 手動受信（ボタンを押して手動受信します）

※工場出荷時には、自動受信を行なうようにセットされていますので、電波を受けるのに適した環境であれば、自動的に受信を行ない、正確な時刻を保ちます。

●受信しやすくするために

本機を腕からはずし、金属をさけて下図のように時計上部（12時位置のアンテナ）を外に向けて窓際に置いてください。



●時計本体を横向きに置くと受信しにくくなります。
●受信中、時計を動かさないようにしてください。

●受信時間は？

受信時間はおよそ２～６分です。

※ただし、受信電波の設定で「FREQ. AT」を選んでいるときは、周波数を選択するため、最大12分かかる場合があります。

＊ 受信電波の設定については「■受信電波を選ぶ」参照。

●手動受信

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約２秒間押し続けます



➡確認音が鳴り、受信を開始します。
受信中は受信マーク“”と受信インジケーターが変化します。

★受信を中止するときは

Ⓐ ボタンを押します

※受信中は Ⓐ ボタン以外の操作はできません。

★受信が成功すると

成功した時点で受信を終了し、日時を修正後、修正日時を表示します。

※受信マーク “” と受信インジケーターが点灯します。

★受信が失敗すると

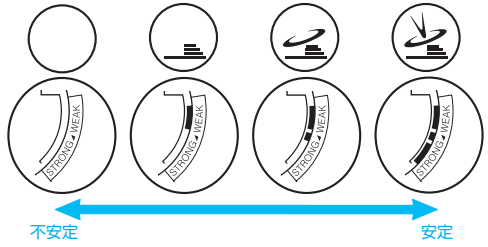
時刻修正は行なわれず、“ERROR!” を表示します。

※何も操作をしないと、１～２分後時刻モードに戻ります。

●受信マークと受信インジケーター

受信中は受信状態によって受信マークと受信インジケーターが変化します。
安定状態がなるべく長く保てる場所で受信してください。





※受信しやすい場所でも、安定するまで約１０秒ほどかかります。

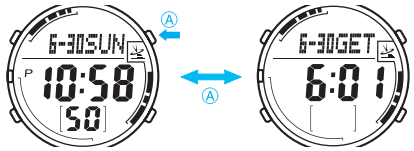
●受信マークと受信インジケーターは、受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。
●天候、時間、環境等により電波状況は変化します。

●受信日時の確認

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを押します

➡受信により最後に修正した月日と時分を表示します。
※時刻表示に戻すには、もう一度 Ⓐ ボタンを押します。
※何も操作をしないと、1～2分後時刻モードに戻ります。



ご注意

●本機は「時・分・秒」と「年・月・日」の情報を受信しますが、電波状況により「時・分・秒」のみ受信する場合があります。

●"⩇" マークは「時・分・秒」と「年・月・日」の情報を両方受信したときに点灯します。「時・分・秒」のみ受信したときは点灯しません。

「時・分・秒」「年・月・日」を受信	⩇ 点灯する
「時・分・秒」のみ受信	⩇ 点灯しない

●「時・分・秒」のみ受信した場合、受信日時の確認で表示される月日は、受信時に時刻モードで表示していた月日となります。

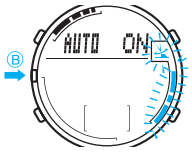
■自動受信の ON／OFF 設定

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓑ ボタンを押します

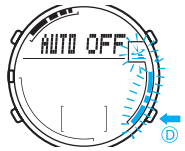
➡受信マーク "⩇" と受信インジケーターが点滅します。



2. ON／OFF を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに自動受信の ON／OFF が切り替わります。



3. セットを終わる

Ⓑ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■受信電波を選ぶ

ホームタイム都市を TYO（東京）に設定しているときは、受信する電波を選ぶことができます。

* ホームタイム都市の設定については「■セットのしかた」参照。

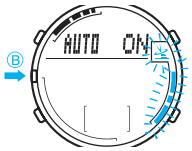
※工場出荷時には、「ホームタイム都市＝TYO（東京）、受信電波＝FREQ.　AT」でセットされています。

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓑ ボタンを押します

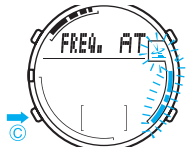
➡受信マーク "⩇" と受信インジケーターが点滅します。



2.「受信電波設定」にする

Ⓒ ボタンを押します

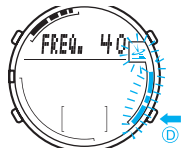
➡受信電波の設定になります。



3. 受信する電波を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押して、受信する電波を選びます。



●FREQ.　AT 「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」と「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波のうち、受信しやすい方を自動的に選びます。 ※前回受信に成功した方の電波を優先的に受信します。
●FREQ.　40 「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」からの電波のみ受信します。
●FREQ.　60 「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波のみ受信します。

4. セットを終わる

Ⓑ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■受信に関するご注意

●自動受信は時刻モードとワールドタイムモードでのみ行なわれます。

●自動受信中にボタン操作を行なうと、確認音が鳴り、受信を中断します。

●受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。
ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによってうまく受信できないことがあります。

●電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。

●本機は日本およびアメリカで送信されている電波に合わせて設定されていますので、電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。

●電波受信を行なわないときは、平均月差±15秒以内の精度範囲で動きます。

●極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。

●受信中にアラームが鳴ると、受信を中断します。

●本機のカレンダー機能は2039年までですので、2040年以降は受信してもエラーとなり、カレンダーは2039年12月31日のままとなります。

■こんなときには

手動受信ができない

原因：時刻モード以外のときは、手動受信はできません。
ホームタイム都市が TYO、NYC、CHI、DEN、LAX 以外のときは、手動受信はできません。

処置：手動受信は時刻モードで行なってください。
ホームタイム都市が TYO、NYC、CHI、DEN、LAX のとき、手動受信を行なうことができます。
「■セットのしかた」からの設定をご覧になり、ホームタイム都市を合わせてください。

「自動受信ON」に設定しているのに "⩇" マークが消えている

原因："⩇" マークは受信が成功し、日時修正を行なったときに点灯します。
一日に一度も受信に成功していない場合は、点灯しません（毎日午前3時に消えます）。
"⩇" マークは「時・分・秒」と「年・月・日」の情報を両方受信したときに点灯します。「時・分・秒」のみ受信したときは点灯しません。
自動受信時に時刻モードまたはワールドタイムモード以外のモードになっていた。

処置：電波の届く場所で使用しているかを確認して、受信を行なってください。
「受信成功」しやすい環境で使用してください。
自動受信を行なうときは、時刻モードまたはワールドタイムモードにしておいてください。
また、手動で時刻修正をすると、"⩇" マークは消えます。

電波受信をしても時刻が合わない

原因：サマータイムが ON になっているか、ホームタイム都市設定を間違えていませんか。

処置：1時間進んでいるとき（DST マーク点灯）はサマータイムが ON になっています。また、大きく違っているときはホームタイム都市を間違えています。
「■セットのしかた」からの設定をご覧になり、正しく合わせてください。

●電波受信ができないときや受信しても時刻が合わないときなどは、設定を確認してください。
※本機は工場出荷時および電池交換後には、以下の内容でセットされています。

自動受信	AUTO ON	自動受信ON
受信電波	FREQ. AT	日本の標準電波（40kHz/60kHz）を自動選択
ホームタイム都市	+9.0TYO	東京
サマータイム	AUTO DST	電波受信による自動切替

データメモリー機能の使い方

Ⓒ ボタンを押して、データメモリーモードにします。

データメモリーモードでは、メールアドレスやホームページアドレスなどのデータを記憶できます。

※1 件あたりのデータ内容により、記憶できる総件数が変わります。
（・1 件あたり 63 文字のデータを入力した場合、5 件まで記憶できます。
・1 件あたり 7 文字のデータを入力した場合、40 件まで記憶できます。）

※データメモリーモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

■ データを見る

1. 見たいページを選ぶ

データメモリーモードのとき

Ⓐ ボタンを押します

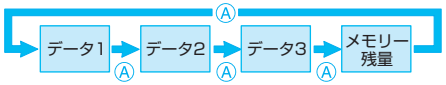
➡Ⓐ ボタンを押すごとにページが切り替わります。

※ 押し続けると早送りします。



※ データ入力をしたページとメモリー残量を表示します。なお、データを 1 件も入力していないときは、メモリー残量のみ表示します。

例）データを 3 件入力したとき



2. データを見る

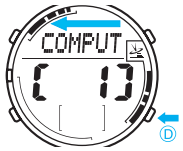
Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すと右から左へ文字が横に流れ、6 文字ずつデータを表示します。

※ 押し続けると早送りします。

※ データの最後に "<" マークがつきます。

※ データが 5 文字以下のときは、Ⓓ ボタンを押しても文字は横に流れません。



■ データを入力する

1. メモリー残量を表示させる

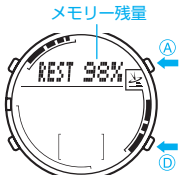
データメモリーモードのとき

Ⓐ ボタンと Ⓓ ボタンを同時に押します

➡メモリー残量を表示します。

※ "0%" と表示されるときは、すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消しておいてください。

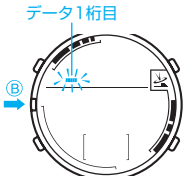
* 「■データの修正／消去」参照。



2. セット状態にする

Ⓑ ボタンを押します

➡データの 1 桁目が点滅します。

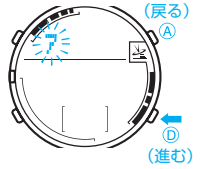


3. 点滅箇所をセットする

Ⓓ または Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字が進み、Ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。



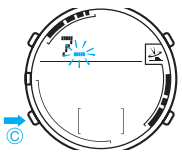
入力できる文字について
- カタカナ（ア～ン　ァ～ォ　ッ　ャ～ョ　゛゜）
- 英小文字（a～z）
- 記号（＊ー＿@ ˜ ／？＃！%.：'，＆＝÷×－＋）
- 英大文字（A～Z）
- 数字（0～9）

※カタカナはⒹまたはⒶボタンを押し続けるとア段の早送り（ア⇔カ⇔サ⇔タ…）になります。

4. 桁を移動させる

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すと点滅箇所が右に 1 つ移動します。



Ⓒ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓐ ボタンを押して文字を入力する操作を繰り返してデータを入力します。

5. セットを終わる

Ⓑ ボタンを押します

➡"SAVE！" 表示後、点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

※ 続けて他のデータを入力したいときは、1～5 の操作を繰り返し行ないます。

※ データは入力した順に記憶していきます。

■ データの修正／消去

1. Ⓐ ボタンを押して修正／消去したいデータを選びます

2. Ⓑ ボタンを押します

➡データの 1 桁目が点滅します。

3. データを修正／消去する

● **データ修正** ➡ Ⓒボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、ⒹまたはⒶボタンを押して正しい文字を表示させます。

● **データ消去** ➡ Ⓓ ボタンと Ⓐ ボタンを同時に押します。"CLEAR！" 表示後、データが消去されます。

※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。

※点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

4. 修正／消去が終わりましたら、Ⓑ ボタンを押して点滅を止めます

※ データを消去すると、後ろのページが 1 ページずつ繰り上がります。

ストップウオッチの使い方

Ⓒボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99（24 時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



●通常計測

Ⓓ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　ストップ　リセット

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに Ⓓ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　スプリット計測　スプリット解除　ストップ　リセット

●1・2 着同時計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ
スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

●計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（"SPL" 表示）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
●計測終了後Ⓐ ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります（リセット）。

アラーム・時報の使い方

Ⓒ ボタンを押して、アラームモードにします。

■ アラームの使い方

●アラーム報知の方法

アラームは、時・分とメッセージ（最大８文字）をセットでき、セットした時刻になるとアラーム報知を行ないます。

アラーム報知の方法には、以下の２種類があります。

＊ 報知方法の選び方については「●アラーム報知のON／OFF設定」参照。

1 **電子音報知**…電子音でお知らせします。
2 **アラート報知**…表示点滅でお知らせします。

※メッセージを入力しているときは、アラーム報知と同時に、時刻モードで１分間メッセージを表示します。

●アラームの種類

本機には、５本のアラームがあり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。
（通常アラーム４本／スヌーズアラーム１本）

●通常アラーム（ALARM1 ～ ALARM4）
セットした時刻になると10秒間アラーム報知を行ないます。

●スヌーズアラーム（SNOOZE）
セットした時刻になると10秒間アラーム報知を行ない、5分おきに7回繰り返します。なお、ボタンを押してアラーム報知を止めても、再び報知を行ないます。

●アラームのセット

1. アラームを選ぶ

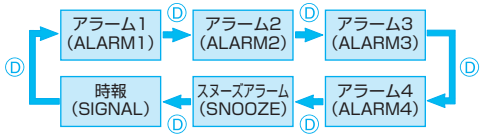
アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

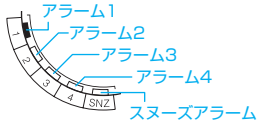
➡Ⓓ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、設定したいアラームを選びます。

※ 選んでいるアラームのインジケーターが点灯します。





＜アラームインジケーターの見方＞

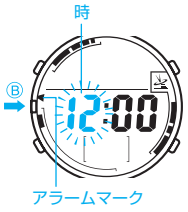


2. セット状態にする

Ⓑ ボタンを押します

➡「時」が点滅します。

※ アラームOFFのときセット状態にすると、アラームマークが点灯して、自動的に電子音報知がONになります。



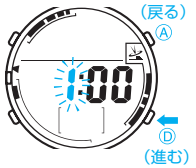
3. 「時」をセットする

Ⓓ または Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓐボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。

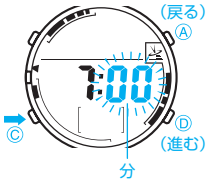
※「時」のセットのとき午前／午後(P)、または24時間制(24)にご注意ください。



4. 「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押します

➡「分」が点滅します。「分」も「時」と同様に Ⓓ または Ⓐ ボタンでセットします。



5. 「メッセージ」のセットに切り替える

Ⓒ ボタンを押します

➡メッセージの１桁目が点滅します。

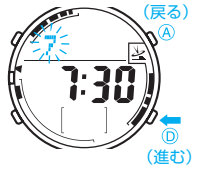


6. 「メッセージ」を入力する

Ⓓ または Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の文字が進み、Ⓐボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。



入力できる文字について
●カタカナ（ア～ン　ァ～ォ　ッ　ャ～ョ　゛゜）
●英小文字（a～z）
●記号（＊―＿@ ˜ ／？＃！%.：’，＆＝÷×－＋）
●英大文字（A～Z）
●数字（0～9）
※カタカナはⒹまたはⒶボタンを押し続けるとア段の早送り（ア⇔カ⇔サ⇔タ…）になります。

7. 桁を移動させる

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すと点滅箇所が右に１つ移動します。



Ⓒボタンを押して点滅箇所を移動させ、Ⓓまたは Ⓐ ボタンを押して文字を入力する操作を繰り返してメッセージを入力します。

※メッセージは最大８文字まで入力できます。

8. セットを終わる

Ⓑ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

●アラームの修正

1. Ⓓ ボタンを押して修正したいアラームを選びます

2. Ⓑ ボタンを押します

➡「時」が点滅します。

3. アラームを修正する

Ⓒボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、Ⓓまたは Ⓐ ボタンを押して正しい数字・文字を表示させます

※Ⓓ ボタンと Ⓐ ボタンを同時に押すと、“CLEAR！”表示後メッセージが消去され、アラーム時刻は午前12:00になります。

4. 修正が終わりましたら、 Ⓑ ボタンを押します

●アラーム報知の ON／OFF 設定（報知方法を選ぶ）

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

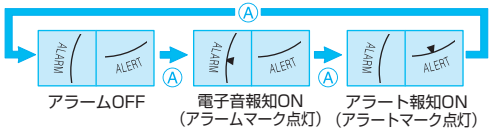


2. 報知方法を選ぶ

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに以下の順で切り替わります。





●アラーム OFF
アラーム報知は行ないません。

●電子音報知 ON（アラームマーク点灯）
10秒間電子音が鳴ります。

※電子音報音中は、アラームマークと該当のアラームインジケーターが点滅します。
※メッセージを入力しているときは、時刻モードで１分間メッセージを表示します。

●アラート報知 ON（アラートマーク点灯）
10秒間アラートマークと該当のアラームインジケーターが点滅します。

※電子音の報音は行ないません。
※メッセージを入力しているときは、時刻モードで１分間メッセージを表示します。

●モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

ご注意

●電子音報音中にいずれかのボタンを押すと、音が止まります。(時刻モードでは、音を止めてもメッセージは1分間表示し続けます)

●メッセージ表示中にモード切り替え等で表示を切り替えるとメッセージ表示は中断します。

●スヌーズアラームのときは、5分おきに7回アラーム報知を繰り返します。なお、スヌーズアラーム機能中はスヌーズアラームのインジケーターが点滅します。

●「●アラーム報知のON／OFF設定」の手順でアラームマークまたはアラートマークを消すと、スヌーズアラーム機能が解除され、以後報知は行ないません。

●スヌーズアラームのインジケーター点滅中に以下の操作を行なうと、点滅が止まり、次回報知を中断します。
(・時刻モードでセット状態に入る。
・アラームモードでセット状態に入る。)

■時報の使い方

●時報について

毎正時(00分)に"ピッピッ"と電子音を鳴らすことができます。

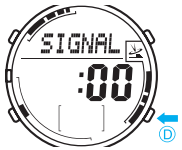
●時報のON／OFF設定

1. 時報表示を選ぶ

アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押して、時報表示(SIGNAL)を選びます。



2. ONまたはOFFを切り替える

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに時報のON／OFFが切り替わります。

※時報マークが点灯しているときがONとなり、時報が鳴ります。



ホームタイムデータ(時刻・カレンダー)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域(都市)や時刻・カレンダー等を合わせることです。
パワーセービング機能のON/OFF設定も以下の操作で行なうことができます。

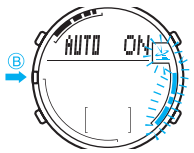
■セットのしかた

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓑ ボタンを押します

➡受信マークと受信インジケーターが点滅します。



2. 「ホームタイム都市設定」にする

Ⓒボタンを2回押します

➡「都市コード」が点滅します。



3. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓓ または Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。本機をお使いになる地域(都市)を選びます。

※ Ⓓ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。

* 都市コード一覧については「■都市コード一覧」参照。



4. 「サマータイム切替」にする

Ⓒ ボタンを押します

➡サマータイムの切り替えになります。

* サマータイムについては「■サマータイム(DST)について」参照。



5. サマータイムのON／OFFを切り替える

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。

●OFF DST サマータイムはOFFになります(通常時間)。
●ON DST サマータイムはONになります(夏時間)。 ※DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。
●AUTO DST 電波受信により、自動的にサマータイムのON／OFFが切り替わります。 ※ホームタイム都市がTYOのときは日本のサマータイム情報に、NYC、CHI、DEN、LAXのときはアメリカのサマータイム情報に合わせます。 * アメリカのサマータイム期間＝4月の第1週日曜日のAM2:00～10月の最終日曜日のAM1:00

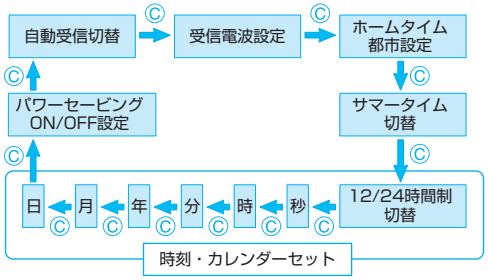
※ホームタイム都市がHKG、TYO、SEL、NYC、CHI、DEN、LAX、ANC、HNL以外のときは、「OFF DST」⇔「ON DST」で表示が切り替わります。

6. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





7. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓓ または Ⓐ ボタンで点滅箇所をセットします。

★「12/24時間制切替」のときは…

Ⓓ ボタンを押すごとに12時間制表示"12H"と24時間制表示"24H"が切り替わります。



★「秒」セットのときは…

Ⓓ ボタンを押すと「00秒」からスタートします。

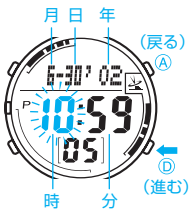
※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です)



★「時」「分」「年」「月」「日」セットのときは…

Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。



★「パワーセービングON/OFF設定」のときは…

Ⓓ ボタンを押すごとにパワーセービング機能のON/OFFが切り替わります。



6. ～ *7.* の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後(P)、または24時間制(24)にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

8. セットを終わる

Ⓑ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。